

うちの青年主婦シニア自慢⑬

町田支部さくら会



ヨガを楽しむ会員

【町田・主婦・松本栄美 子記】さくら会が毎月発行している「主婦のちから」は発刊590号に達しました。コロナ禍で生まれなかつたときを除き、毎月発行している歴史ある新聞で、毎号工夫を凝らした記事を手作業で台紙に切り貼りしています。

若い会員を主役に

新しい事に挑戦したい

今年度はようやくイベントを実施できるようにになり、8つの地域分会内にある自然公園などを歩く会を4回企画しました。外出を控えて運動不足になっていた会員が多いこと、町田市

は東西に広く、遠方の地域には行く機会が少ないというのが理由です。みんなでお弁当を食べたり、おしゃべりしつつ散歩する中で地元の再発見もできたようです。来年度は、残り4分会の「歩く会」を企画中です。



町田ぼたん園散策に参加した皆さん

この数年、私たちを取り巻く状況が大きく変わりました。それでも、伝統を大事にしながら新しい事に挑戦していきたいと思えます。

品川

20人から200人超へ 八丈島分会が結成30周年

【品川・書記・新聞仁通信 員】11月18日、品川支部八丈島分会結成30周年記念式典を、山下八丈町長、東京土建本

支部役員、江戸川支部東京第二分会の方々を含め、総勢78人の参加で開催しました。本来であれば、昨年行なう予定でしたが、

コロナ禍により1年延期しての実施となりました。はじめに秋田分会長のあいさつがあり、その後、来賓の方々からの祝辞・乾杯と移り、余興では、パトとして『八丈太鼓』が披露され、

華麗かつ迫力ある演奏に盛り上がりました。パート2では「お笑いライブ」を開催し、エンタの神様に出演したことがあるデッカチャン他2人のお笑い芸人の方がネタを披露。会場内は笑い声であふれ、デッカチャンと小林執行委員長がコラボする場面もありました。

その後、カラオケタイムに移り、組合員・家族が美声を響かせ、最後に奥山常任より閉会のあいさつがあり、無事に終了しました。

20人で結成した八丈島分会も200人を超え、島内唯一の建設労働組合として、さらなる発展を目指していきま



多くの仲間が参加した記念式典

【府中国立・書記・前田寛史通信員】多摩西ブロック青年部は秋の仲間づくり月間と結合した取組みとして「京都研修」を開催しました。今回の研修は京建労（東京都建築労働組合）の協力を得て、京都で活動する仲間の仕事と運動を大いに学ぼうと企画されました。1日目は京建労の組合員で京都市左京区で社建

築を行なう有限会社匠弘堂を訪れました。匠弘堂の社是は「先人の残りができました。まつりのフイナールとなるお菓子まきは、ステージ上で建て方の説明を交えながら組み立て、無事上棟したことを祝して行ないます。

この建前は、毎年青年部が担当しています。事前に建て方の練習をしてイメージをつかみ、お客さんの前で披露します。また青年部員の当日参加者の確保も重要で、青年部会や青年部グループラインで何度も集約を行ないました。

今年度青年部を卒業する児玉青年部長は土建まつりの打ち上げの席で、「メーデーのデコレション製作と土建まつりの建前は、青年部の年間行事のなかでもメインのイベント。来年はよろしく頼む」と自分の思いを託しました。思いを引き継ぎ、青年部は新たな一歩を踏み出します。

書記長のバンドも 大住宅デーに1000人超

北



カポエラダンスも披露された

【北・書記・井口知良記】11月12日、北区飛鳥山公園にて「秋の大住宅デー」が1000人を超す来場者で開催さ

れました。新型コロナウイルスの流行以降開催できない年が続きましたが、組合の会議では「区民に土建組合をアピールし元

気な姿を見せ還元していきたい」「参加者、来場者のみなで楽しみたい」等、熱のこもった意見が多数あり4年ぶりの開催となりました。

当日は小雨模様でのスタートでしたが「組合員の熱い思い」が届いたのか、お昼前より雨がやみ、徐々に来場者が増えってきました。今回の大住宅デーは「新型コロナウイルスによる失なわれた4年を取戻す」「新しい参加者を増やし分会の活気を取り戻す」ことを最大のテーマとして臨みました。

各分会の努力が実を結び各分会ブースでは、新しい若い参加者、親子連れの参加者で「活気にあふれ楽しそうに参

加している」様子を見ることができました。大住宅デーにかける意気込みが伝わってきました。お昼前には山田北区長が来場して各分会テントを廻っていただき、参加者も元気をもらいました。

ステージではカポエラダンスやバンド演奏が続ぎ、会場を盛り上げてくれました。メインイベントは岡村書記長が参加するバンド演奏でした。いつもとは違う「格好良い」岡村書記長の登壇に会場は大盛り上がりでした。



青年部による上棟式

閉会に際しては、これから組合活動を盛り上げていくことを会場全体で確認し有意義な一日が終わりました。

「来年はよろしく」 部長の思いを次の一歩へ

杉並

【杉並・書記・双木淳志通信員】11月19日に杉並第十小学校&蚕糸の森公園を会場に行なわれた第21回東京土建まつり。1万人の来場者を迎え、無事開催するこ

玉青年部長は土建まつりの打ち上げの席で、「メーデーのデコレション製作と土建まつりの建前は、青年部の年間行事のなかでもメインのイベント。来年はよろしく頼む」と自分の思いを託しました。思いを引き継ぎ、青年部は新たな一歩を踏み出します。